

研究テーマ：障がい者支援施設における住空間環境を改善するためのデザイン提案と実践



氏名：	西川 賢治/NISHIKAWA Kenji	E-mail：	nishikaw@yonago-k.ac.jp
所属・職名：	建築学科 准教授	学位：	修士(工学)
所属学会・協会：	日本建築学会		
キーワード：	デザイン 障がい者支援 木製家具		
連携可能企業・業種等：	障がい者支援施設 建材・家具等製作企業		

研究内容： 障がい者施設入所者が製作プロセスに関わり続けられる食事用テーブルデザインの考案と試作

障がい者支援施設の入所者にとって、入所施設は今後の人生を家族の元を離れ長期に渡って他の入所者・施設職員との共同生活を送ることとなる大切な住空間である。そこで暮らす入所者の生活の質を高めるためには、入所者自身が施設の住空間について、自分の「家」のように能動的に関われるようにすることは重要だと考える。

本研究は H29 年度に鳥取県米子市の障がい者支援施設「もみの木園」で入所者が使用する食事用テーブルについて、(1)食事介助のための機能を持ち、(2)入所者自身がテーブル製作のプロセスに関わり続けることができるデザインの考案と製作を行ったものである。施設へのヒアリングを通じて、テーブルの材料には、頑丈な上に木の温かみを感じられる CLT パネルが適していると判断し、設計・製作を行った。

テーブルデザインの特徴

翼状のテーブル天板形状：車イス利用者二人がけの食事用テーブルとして食事介助のしやすさとテーブル複数台使用時における多様なレイアウトの両立を目指した。

着せ替えるデザイン

本テーブルは仕上げに円盤状のパーツを脚部に取り付けることで完成する。円盤パーツに施すカラーリング(色塗り)を利用者が担うことで、使い手がテーブルデザインの完成に能動的に関わり続けられる設えにした。このパーツは磁石によって簡単に脱着が可能となっており、利用が取り付け位置を着せ替えのように適宜変えることができる。また、無地の円盤パーツを余分に準備してあるので、新しいカラーリングを施すことも可能となっている。



テーブル仕様

サイズ：W1610, D658, H686(mm)

杉材 CLT パネルt36mm, 水性ウレタンクリアー仕上げ



絵筆を使った色塗り作業が楽しい体験となるよう、施設入所者には米子高専に出向いてもらい、学生と行う色塗りワークショップに参加してもらった。



色塗り作業の様子



施設での利用状況

過去の企業等連携実績・
その他アピールポイント等